



奈良県感染症情報

令和6年第13週(3月25日～3月31日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- RSウイルスについて
- 病原体(ウイルス)検出情報(3月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	4.91	(4.24)	➔	➔	➔	↗
2	新型コロナウイルス感染症	4.69	(5.31)	↘	↘	↘	↘
3	インフルエンザ	3.98	(5.73)	↓	↓	↓	↘
4	RSウイルス感染症	3.38	(1.88)	↑↑↑	↑	↑↑↑	↑↑↑
5	A群溶連菌咽頭炎	2.26	(1.85)	➔	➔	➔	➔

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➔横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は4.91で、前週の4.24に比べて増加しました。手指や食品を介して感染するため、調理や食事の前、トイレに行った後、下痢等の患者の汚物処理やおむつ交換等を行った後の入念な手洗い、食品の衛生的な取り扱い、十分な加熱調理などが感染予防対策として有効です。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は4.69でやや減少、インフルエンザの定点当たり報告数は3.98で減少となっていますが、引き続き、換気、消毒、人との距離の確保及びマスクの着用といった感染防止対策をお願いします。

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3.38で前週の1.88に比べて急増しています。中和保健所管内西部地域では定点当たり報告数が9.83と特に多くなっています。令和4年、令和5年と流行時期が年々早まっているので注意してください。

A群溶連菌咽頭炎は定点当たり報告数が2.26で前週の1.85に比べて増加しています。地域別では、中和保健所管内西部地域で報告数が多い状態です。

◆ RSウイルスについて ◆

RSウイルス感染症は全ての年齢で何度も感染し、特に2歳までにほぼ100%の児が少なくとも1度は感染するとされています。感染経路は「接触感染」と「飛沫感染」で、手洗いやアルコール消毒、マスクの着用、人混みを避けるなどの感染予防対策が有効です。乳幼児の場合はおもちゃをなめることもあるので、共用を避け、洗浄消毒することも効果的です。



◆ 病原体(ウイルス)検出情報(3月) ◆

*ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
インフルエンザ AH1pdm09	1				インフルエンザ(1)
インフルエンザ AH3		1			インフルエンザ(1)
インフルエンザ B (ピクトリア系統)	8	3			インフルエンザ(10) インフルエンザ様疾患(1)
ヘルペス 6	2				手足口病(1) 発疹症(1)

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

